

元気な人紹介

農業後継者の育成に力を注ぐ！

こめ奉行 代表取締役

世羅町下津田 立石 和子さん

現在、農村は高齢化に伴い後継者が減少しているが、これからは一経営体となり、農家から企業へ転換し流通に係わるべきとの先代社長の言葉。その意志を引き継いでこられた、立石さんにお話を聞きました。

田舎には今仕事がなく、止む無く都会に出ていっても、ある程度年を取ると田舎の良さにひかれます。趣味や人とのふれあい、心のやすらぎなどは都会では得られないものがある。田舎で農業を頑張れば生活が出来る。そんな魅力を作りたいたのことです。

こめ奉行では、若い人と一緒に農業をしています。農業を守ることは、地域を守ることに繋がっていると思います。

しかし、ここまで来るのも平坦ではなかった。ある時、友人が「スーパーで買っている米は美味しくない」と言われ、世羅のお米を分けてあげたら「とても美味しい」と言って、友人の働いているレストランを紹介された。店長から「美味し



いから分けて欲しい」と言ってもらいとても嬉しかった。

このことがきっかけで、量販を試みたが、5kgの袋詰めが一個か二個の注文しかなく、新たな顧客を開拓するも「余った米を売るのだろ」と殆ど断られ我慢の時期が続いた。

ある年の新米を、刈り取りから3日後、スーパー「新米特売」コーナーに出品した。すると多くのお客さんから「美味しい」「新湯のコシヒカリに負けない」の評価を得た。以後、徐々に販売が伸びた。ここまで来るのは大変だったが、我慢した甲斐があったからと話された。

今まで補助金は受けなかったが、年度当初、従業員にボーナスを出す約束、それを叶えるため、所得補償を申請した。これまでも振り返ると、地域の人々に支えてもらった御陰です。これからも、農業は決して楽ではないが、農業に夢を持ちつづけ、コツコツと努力し、農業を通じて地域に貢献したいと話されました。



表紙紹介



「服部杯ふれあいマラソン大会」が12月5日に開催されました。この大会には、小学生の部2kmに約150人、一般の部3kmに中学生と一般男子20人余りが参加されました。

服部杯は、地元下津田の名誉町民の服部孝宏さん（故人）の体育振興と子どもたちに夢と希望を与えた功績をたたえて開催されています。

元気に躍動して走る子どもたちを紹介します。

編集後記

9月定例会以後の議会構成が変わり、広報公聴調査特別委員会の委員構成も変わりました。

国際情勢、政治情勢、人間関係が激しく変化

する今日、議会活動も活発化しなければなら

ないと考えます。

特に、議会活動の状況

前回の訂正

No.23号元気な人紹介中、末広院長は、「平成14年4月に赴任され」は「平成10年4月に赴任され」の誤りでした。訂正しお詫びいたします。

議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は3月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議会広報公聴
調査特別委員会

委員長／福田 義人
副委員長／松本 秀治
委員／西田美喜男・安佐 長秀
福田 豪・仙光 保喜

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。
年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。



この広報は、環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。